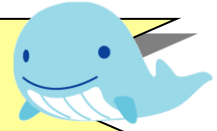




保健師職能委員会だより



平成30年2月

平成 29 年度滋賀県統括保健師会議および研修会 2月7日（水）参加者 37人

テーマ：統括保健師の役割推進を目指して～全世代型地域包括ケアシステム構築のために～

座長：学校法人京都育英館 京都看護大学 特任教授 堀井とよみ氏

報告：「滋賀県の統括保健師の現状」滋賀県健康寿命推進課 福井美代子氏
「平成 29 年度全国保健師長研修に参加して」

大津市保健所健康推進課 藤本亜由美氏

講演：「保健師管理者への期待 ～他職種の立場から～

草津市役所健康福祉部理事（健康福祉政策担当） 富安知翔氏



統括保健師としてどのような視点を持って役割を果たしていく必要があるのか、見通しを示していただくとともに、今後に向けての力強いエールをいただきました。

★福井氏

滋賀県ではすべての市町において統括保健師を配置。

今年度、滋賀県人材育成計画を策定中。さらに滋賀県版のキャリアラダーを作成中。

今後はラダーを元に各市町の状況に応じて人材の育成に取り組んでいけるように。

★藤本氏

これからの保健師に求められるのは、現状分析に基づく目標設定と保健活動の成果・効果の可視化をすること。住民と行政が共通認識できるデータを組織横断的に統合し、事務職等と協働しながら組織間で共通認識を持って活用していくこと

★富安氏

草津市で健康なまちづくりに取り組んでいる。他部署とコラボするとき、保健師の専門用語、行政用語ではうまくいかない。相手に応じて分かりやすく。農政課へは野菜摂取ではなく「地産地消」。そして、一緒に汗をかくという姿勢が必要。

また、PDCA をまわすことだけが目的になってしまわないように、その事業がそもそも「何のために」やっていて、政策目標の評価がどうだったかを考えていかなければならない。

保健師は健康福祉部門のリーダーだけでなく、その専門性を活かし、部門横断的な施策立案、調整等のリーダーに。活躍を期待する。

厚生労働省でのご経験と草津市での実践を通じて、保健師に熱いエールを送っていただきました。



『グループワーク』

【統括保健師の役割推進のために取り組むこと・求められる能力】



現状と課題

- ・PDCA サイクルがまわせていない
- ・地区担当制の共有ができていない
- ・分散配置になりそれぞれの保健師の方向性が見えにくい

今後の方向性

- ・活動ビジョンの明確化
- ・めざす方向を共有しPDCAサイクルをまわす
- ・キャリアラダーの活用
- ・統括補佐の育成

それぞれの市町での状況や課題を話す中で、統括保健師（補佐）として、どのような役割を果たすべきかを意見交換しました。

『講評（堀井座長）』～統括保健師（補佐）としての役割の実践を～

- ◆ 何のためにそれをするのか、保健師活動のビジョンを具体的に可視化する
- ◆ 住民とともに作りあげる
- ◆ 統括保健師＝総支配人
市町全体・部門ごとのマネジャーの統括
- ◆ 保健師活動をまとめる（見える化）
→ それらを各部署や学会等で発表してほしい
- ◆ 包括ケアシステムのシステム管理



～ お知らせ ～

平成 29 年度保健師職能集会 3月18日（日）10時～15時

テーマ：保健師のキャリアラダー／キャリアパスを人材育成計画に活かすために

講師：中板育美 氏（日本看護協会常任理事 日本看護協会保健師職能委員長）

報告：「滋賀版キャリアラダーについて」滋賀県健康医療福祉部健康寿命推進課 福井美代子 氏
「全国保健師職能委員長会議報告」滋賀県保健師職能委員長 黒橋真奈美 氏

平成 28 年 3 月に示された「保健師に係る研修のあり方等に関する検討会 最終とりまとめ～自治体保健師の人材育成体制構築の推進に向けて～」で示された、自治体保健師の標準的なキャリアラダーを人材計画に活かすには？

中板委員長の現在の取り組み、今後の展望を伺い、みなさんと話し合いたいと思います。

場所は看護研修センターです。みなさん是非、参加してください！！